



第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会 第2回総会

日時：令和6年4月23日(火)11:00～
会場：岐阜県庁舎20階 2001-2004 会議室

次 第

○ 表 彰 式

○ 報 告 事 項

(報告事項1) 実施計画

(報告事項2) 令和6年度事業計画及び予算

○ 議 事

(第1号議案) 令和5年度事業報告及び収支決算(案)

(第2号議案) 総会から常任委員会への委任事項(案)



ぎふ グリーン・ライフ
フェスティバル 2025
Gifu Green Life Festival 2025

第4 2回全国都市緑化ぎふフェア 実施計画

令和6年3月

第4 2回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会

目 次

1	基本的事項	
1-1	名称・愛称	1
1-2	テーマ	1
1-3	主催等	1
1-4	開催時期	1
1-5	会場構成	1
1-6	料金	2
1-7	目標入場者数	2
1-8	シンボルマーク	2
1-9	キャラクター	2
2	開催の方針と事業展開のポイント	
2-1	開催の方針	3
2-2	事業展開のポイント	4
3	事業計画	
3-1	会場計画	5
3-2	出展計画	5
3-3	植物調達計画	6
3-4	行催事計画	7
3-5	会場運営計画	8
3-6	協働推進計画	9
3-7	広報宣伝・観客誘致計画	10
4	各会場の展開内容	
4-1	ぎふワールド・ローズガーデン	11
4-2	ぎふ清流里山公園	13
4-3	養老公園	14
4-4	世界淡水魚園	15
4-5	岐阜県百年公園	16
4-6	各務原公園	17
4-7	飛騨会場	18

1 基本的事項

1-1 名称・愛称

名称：第42回全国都市緑化ぎふフェア
愛称：ぎふグリーン・ライフフェスティバル2025
Gifu Green Life Festival 2025

1-2 テーマ

「清流の国ぎふ」から広げる 自然と共生した暮らし

1-3 主催等

提唱：国土交通省
主催：岐阜県、（公財）都市緑化機構
実行組織：第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会

1-4 開催時期

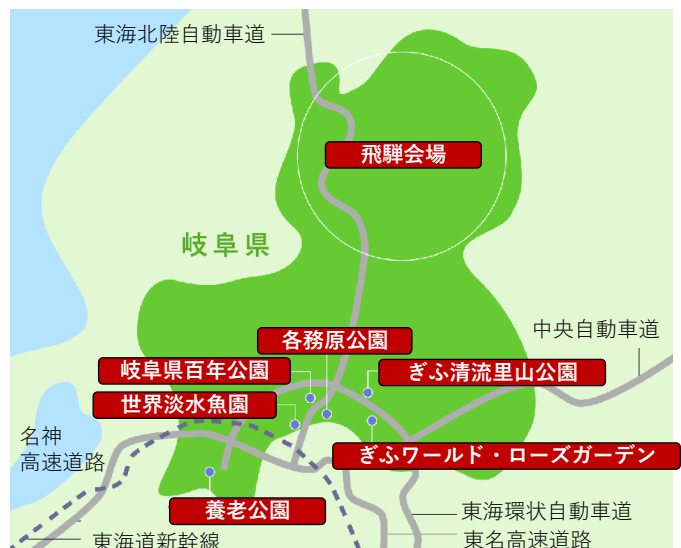
令和7(2025)年4月23日(水)～6月15日(日)：54日間

1-5 会場構成

高速道路ネットワークによって繋がり、ゲートウェイ（玄関口）としての役割を果たす美濃地域の県営都市公園6か所と豊かな自然をもつ飛騨地域を会場とします。また、各会場に設定するテーマと関連する県内各地の地域資源との連携を図り、オール岐阜でフェアを開催します。

【会場】

- ・ぎふワールド・ローズガーデン（可児市）
【テーマ：バラ・花】
- ・ぎふ清流里山公園（美濃加茂市）
【テーマ：里のみどり】
- ・養老公園（養老町）
【テーマ：歴史・文化、アート】
- ・世界淡水魚園（各務原市）
【テーマ：水・川】
- ・岐阜県百年公園（関市）
【テーマ：木・林】
- ・各務原公園（各務原市）
【テーマ：未来・夢】
- ・飛騨会場（飛騨地域の大自然）
【テーマ：森】



1-6 料金

各会場への入場及び会場内の施設の利用については、現在の料金体系を基にします。

特定のイベントやプログラムについては別途、料金を徴収します。

1-7 目標入場者数

県営都市公園の会場の合計で、200万人の入場者を目標とします。

1-8 シンボルマーク



令和5年9月5日から12月8日にかけて公募し、208点の応募作品の中から決定しました。

岐阜県のかたちをモチーフに木をイメージし、温かく親しみの持てるマークとなっています。

5枚の葉っぱは「岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨」の各圏域を意味しています。水や魚の図形も組み合わせ、「清流の国ぎふ」の豊かな自然を表現し、グリーンを基調にカラフルな色を組み合わせ、賑やかなフェスティバルをイメージしています。

シンプルで分かりやすいデザインで、葉っぱに魚を加えることで、全体としてフェアの各会場を表現していると読み取れるものにもなっています。

1-9 キャラクター



「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターのミナモを衣替えし、花・みどりのある暮らしの普及啓発を図る祭典に相応しくレンゲ（県の花）の花束を持たせるとともに、緑色のケープを着用させました。

2 開催の方針と事業展開のポイント

2-1 開催の方針

○花・みどりを切り口に、自然と共生した「清流の国ぎふ」のライフスタイルを国内外に発信し、持続可能でウェルビーイングな社会の実現を図ります。

・自然と共生したライフスタイルの豊かさを“知る”

美しい花とみどりを観て、触れて、親しんでいただくとともに、岐阜ならではの食文化、伝統文化や匠の技を紹介する催事等を通じ、「清流の国ぎふ」の豊かな自然やそれをもとに育まれてきた暮らしの素晴らしさを体験・体感する機会とします。

・自然と共生した新たなライフスタイルを“創る”

DXやグリーンインフラ等の新たな技術や知見も活かしながら、花・みどりを生かした心身の健康づくりや防災、生物多様性の確保などの取り組みを試行・提案する機会とします。

・自然と共生したライフスタイルを次代に“伝える”

開催前から、県民や県内の団体等と連携した様々な緑化活動や公園の管理運営活動を行い、自然と共生したライフスタイルの担い手となるグリーンコミュニティの形成を促進する機会とします。

○「清流の国ぎふ」が誇る多様な自然資源、歴史・文化資源との連携により、広域的な交流・周遊を促進します。

各会場の特色を踏まえたテーマを設け、そのテーマと関連する地域資源と連携強化を図り、広域的な交流・周遊・観光を促進する機会とします。

2-2 事業展開のポイント

「開催の方針」に定める「知る」「創る」「伝える」「交流・周遊」をキーワードに、多様な主体との協働による知識・関心の度合いを考慮した多彩な事業を展開し「清流の国ぎふ」の魅力の発信と向上を併せた、ぎふフェアならではのグリーンライフの普及拡大を図ります。

会場となる公園や自然の特色に応じて設定されたテーマを活かした事業を展開し、それぞれが楽しめるとともに、全体を通じて、「清流の国ぎふ」ならではのグリーン・ライフを満喫できるようにします。

知

自然と共生した暮らしの豊かさを、五感を用いて深く“知”る取組みを通して、行動変容を促します。

創

多様な主体との共創による、花・みどりを用いた暮らしをより良くする取組みを通して、自然と共生した新たなライフスタイルを“創”ります。

伝

フェアを契機に、花・みどりの活動の機運の醸成を図るとともに、グリーンコミュニティの形成に繋がる基盤を設け、フェアの準備段階から関わっていただく取組みを通して、自然と共生したライフスタイルを次代に“伝”えます。



交

会場間や各会場のテーマ・地理的特性に関わりのある地域資源との連携を図り、“周遊”を促し、多様な主体同士が“交流”する取組みを通して、「知・創・伝」の取組みを深化させます。

3 事業計画

3-1 会場計画

「岐阜県都市公園活性化基本戦略」「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づき、これまで磨き上げてきた県営都市公園の魅力を発信します。

各公園において、会場テーマに沿った「特設ガーデン」の展示を行います。

■花・みどりの素晴らしさを体験できる「特設ガーデン」

知

公園名	会場テーマ	特設ガーデン
ぎふワールド・ローズガーデン	花・バラ	フラワーリビングガーデン
ぎふ清流里山公園	里のみどり	花の段々畑
養老公園	歴史・文化、アート	アートガーデン
世界淡水魚園	水・川	水上ガーデン
岐阜県百年公園	木・林	林のガーデン
各務原公園	未来・夢	芝生アート

※ 飛騨会場については、特段の整備は行わず、飛騨地域の大自然そのものを見どころとして紹介します。

3-2 出展計画

全国の関係機関・団体との連携により、ぎふワールド・ローズガーデン内において、出展花壇・庭園等の展示を行います。

■花・みどりのある豊かな暮らしを提案する「出展プログラム」

知

創

プログラム	出展者	内容
企業団体等庭園	全国の造園業者・団体等	「自然と共生したウェルビーイングな庭」をテーマに出展作品を募り、コンテストを開催
ハンギングバスケット・コンテナガーデン	全国の一般の方	「清流の国ぎふの花飾り」をテーマに出展作品を募り、コンテストを開催
自治体花壇	全国の自治体	出展自治体が発信したい地域固有の自然や文化、暮らしなど「わがまち自慢」を花壇で表現
全国造園デザインコンクール優秀作品の展示	コンクール優秀作品受賞校	高校生を対象とした全国造園デザインコンクール みどりの広場プラン部門受賞作品を展示
県内市町村コンテナガーデン	県内市町村	県内市町村が発信したい自然や文化、暮らしなど「飛騨・美濃のじまん」をコンテナガーデンで表現
学校花壇等出展	県内の小・中・高等学校の児童・生徒	フラワー・ブラボー・コンクール（岐阜県発祥の小中学校を対象とした花壇コンクール）優秀作品や県内農業系高校の出展作品を展示し、岐阜県の花・みどりの活動を支える人材育成の取組みを一体的に紹介

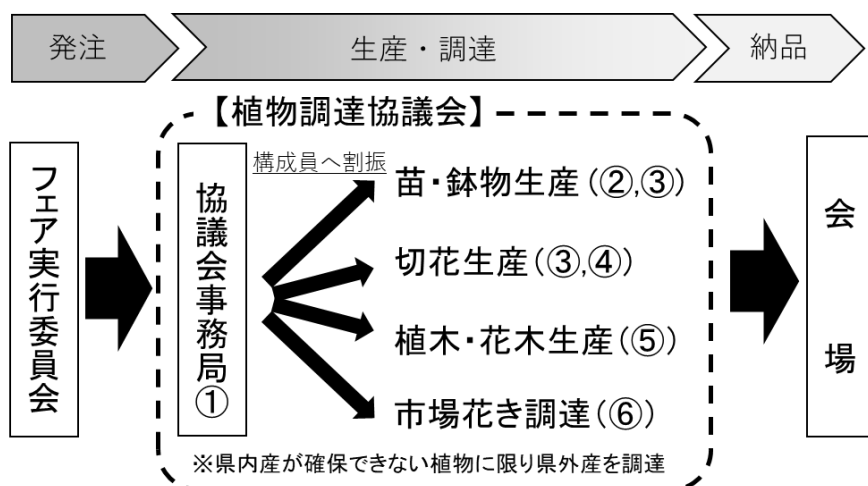
3-3 植物調達計画

(1) 植物調達体制

一般の流通や生産に支障を与えず、安定的かつ効率的な生産調達を行うため、県内の生産者団体、流通業者、農業関係団体からなる「植物調達協議会」を組織し、植物調達体制を整備します。

【第42回全国都市緑化フェア植物調達協議会（令和5年12月1日設立）】

- ①ぎふ花と緑の振興コンソーシアム
- ②岐阜花き流通センター農業協同組合
- ③岐阜県園芸特産振興会花き部会
- ④全国農業協同組合連合会岐阜県本部
- ⑤（一社）日本植木協会愛知支部
- ⑥岐阜生花市場協同組合



(2) 植物調達方針

岐阜県における花きの特色を生かし、県内で生産される植物を基本に調達します。

フェアで使用する植物の種類等は、植物調達協議会の知見を反映させて決定します。

3-4 行催事計画

これまで充実してきた公園でのイベントを含め、開催の方針や各会場のテーマに沿った行催事を展開します。

(1) 行事

①開会式（令和7年4月23日）

場所：ぎふワールド・ローズガーデン プリンセスホール雅

概要：オープニングセレモニー、開会宣言 など

②全国都市緑化祭（期間中の1日）

場所：ぎふワールド・ローズガーデン プリンセスホール雅ほか

概要：記念式典、記念植樹

③閉会式（令和7年6月15日）

場所：ぎふワールド・ローズガーデン プリンセスホール雅

概要：フェア引継ぎ式、閉会宣言

(2) 催事

①都市緑化普及啓発シンポジウム 知 創

ぎふフェアの開催の方針を普及・啓発するシンポジウムを開催します。

②自然と共生した「清流の国ぎふ」の暮らしを「五感」で体感・体験するプログラム 知

各会場において、暮らしに安らぎと感動を与えている「岐阜の花・みどり」や、豊かな自然に育まれた「岐阜の農畜産物」、自然と共生した暮らしの中で受け継がれてきた「岐阜の伝統文化」、自然を活かした「岐阜のものづくり」を、五感で楽しみながら知る催事を展開します。

③多様な主体との「共創」により社会課題の解決に繋げるプログラム 創

企業、団体等と連携し、公園を活用した希少動植物の保護や、子育て支援、農福連携など SDGs 達成やウェルビーイングな社会の実現に繋がる催事を展開します。併せて、公園の新たな活用に関わる企画を公募し、会期内に試行します。

④公園を起点にして新たな「交流・周遊」を生み出すプログラム 交

各公園において、会場テーマや各地の地域資源に因んだ市町村等によるイベントプロモーション（飛騨・美濃じまんDay）を実施します。周遊先の関連イベントとの連携や周遊企画の実施により、県内周遊・交流を促進します。

3-5 会場運営計画

(1) 会場運営

- ・ 既存の運営・管理手法を前提に、公園ごとに催事等の状況に合わせた運営・管理に関するマニュアルを策定し、指定管理者や関係者との連携のもと、誰もが快適で安全に参加できるような会場運営を行います。
- ・ 来場者に対するきめ細やかな対応をするため、各公園に「現地運営本部」を設置するとともに、フェア全体を通して必要なサービス水準を確保し、緊急時において迅速な対応が図れるよう、実行委員会事務局内に現地運営本部を統括する「フェア運営本部」を設置します。

フェア運営本部	各公園の現地運営本部	会場サービス	来場者に対して、案内・情報提供・物品のレンタル等の各種サービスを提供し、快適な会場利用をサポートする業務
		会場管理	警備・清掃・医療・救護・防災等の安心・安全な会場の保持を行う業務
		交通輸送	駐車場管理・シャトルバス運行等を中心に、会場交通に係る警備・整理誘導等、管理運用を行う業務

(2) 飲食・物販

- ・ 民間事業者と連携し、地元の食材や農産物、郷土料理を取り入れたメニューや県産品を用いたお土産を提供します。
- ・ 既存の飲食サービスを活用しつつ、多客時を中心としてキッチンカーを追加配備します。
- ・ 既存の飲食サービスがない公園においては、多客時に加え、土日祝日にキッチンカーを配備します。
- ・ 公園の土産等販売スペースを活用し、フェア関連グッズの販売を行います。
- ・ 飲食提供や物販にあたっては、プラスチックごみや食品ロスの削減に努めます。

(3) 交通輸送

- ・ 一般交通に与える影響を抑えるとともに、環境負荷の軽減を図るため、ICTを活用しながら、適切な交通情報の提供に努めます。
- ・ 公共交通機関利用者向けに、最寄り駅から公園までのシャトルバスの運行やMaaS（経路検索）を導入します。
- ・ 主な来場手段である自家用車対策として、多客時には臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行します。
- ・ 各公園の駐車場混雑状況をリアルタイムに集約し、ホームページ等で情報発信することにより、臨時駐車場への円滑な誘導を行います。
- ・ 各公園の状況に応じ、駐車場のほか、場外や周辺道路等に警備員を配置し、渋滞緩和対策を実施します。
- ・ 障がい者用の駐車場、団体バス用の駐車場、タクシー乗降場、駐輪場については既存のものを活用し、不足する場合は専用のエリア設定を行います。

3-6 協働推進計画

フェアを契機に、県民の花・みどりの活動への関心を高め、機運の醸成を図るとともに、フェア終了後も、それら活動が各地域で持続的に発展していくよう基盤づくりを進めます。

(1) フェアを契機とした花・みどりの活動の“機運づくり” 伝

①誰もが楽しく参加できる会場づくり

フェア開催前から、特設ガーデンの制作等への参加を通じて、誰もが自然の大切さや花・みどりの活動の楽しさを体験できる機会を設け、継続的な活動の機運を醸成します。

②「#ぎふの花・みどり」魅力発信プロジェクト

県民等に、自宅の花壇や暮らしの中に活かした「ぎふの花・みどり」を写真や動画で撮影し、指定のハッシュタグを付けて SNS に投稿していただき、「清流の国ぎふ」の自然と共生した暮らしの魅力を互いに発信します。

(2) グリーンコミュニティの形成に向けた“基盤づくり” 伝

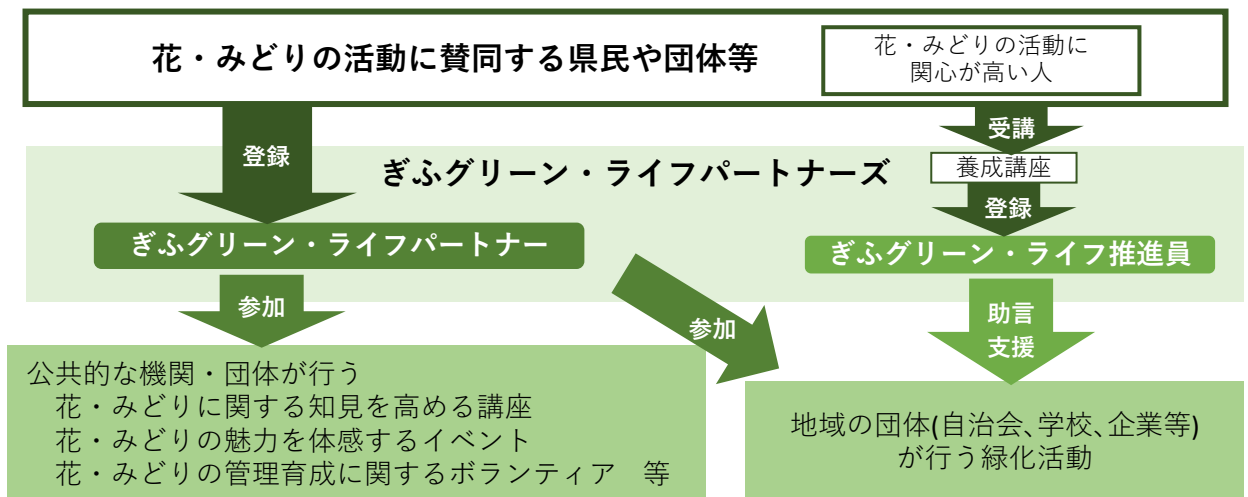
①ぎふグリーン・ライフパートナーズの設置

花・みどりの活動に関わる人と情報の交流を促すためのプラットフォーム（ぎふグリーン・ライフパートナーズ）を設置し、登録者（ぎふグリーン・ライフパートナー）に県内各地の花・みどりの活動情報を随時提供し、参加を促進します。

②ぎふグリーン・ライフ推進員の育成

花・みどりの活動を地域に広げていく核となる人材（ぎふグリーン・ライフ推進員）を育成し、フェア期間中の植栽管理や、終了後の地域の緑化活動等の支援を行います。

【展開イメージ】



公園管理者と共創した公園管理・運営活動

3-7 広報宣伝・観客誘致計画

(1) 広報宣伝

ぎふフェアの開催を広く周知し、岐阜県の魅力を国内外に発信するため、ターゲットやタイミングに合わせて、最適な手段を用いて効果的な広報活動を展開します。

①各種広報媒体を活用した広報展開

- ・ 公式WebサイトやSNSを通じた継続的な情報発信
- ・ チラシやポスターの県内全域への配布・配架
- ・ 新聞、地域情報誌等のメディアの活用
- ・ 県民等によるSNSを用いた情報発信・拡散の仕掛けづくり
- ・ 各会場や公共施設等への、のぼり旗、横断幕等の設置
- ・ 電車、駅、空港、サービスエリア等への交通広告
- ・ 外国人インフルエンサーや留学生等を通じたインバウンド向け広報

②キャンペーン活動による広報展開

- ・ 広報キャラバンや県内外イベントへの出展等によるPR活動
- ・ 大型イベントとタイアップしたプロモーション

(2) 観客誘致

県内及び愛知県など近隣県をメインターゲットに、関西圏及び首都圏を中心とした国内さらには海外からの誘客を図り、県内各地への周遊を促すため、関係機関と連携した観客誘致活動を展開します。

①国内外からの誘客の促進

- ・ 旅行事業者へのプロモーションや教育旅行の誘致などによる国内誘客の促進
- ・ 世界バラ会議福山大会のポストツアーの誘致や大阪・関西万博とのタイアップなどによるインバウンド誘客の促進

②公園間等の周遊や広域的な観光交流の促進

- ・ 高速道路ネットワークを活用したドライブプランの実施などNEXCOと連携した公園間の周遊促進
- ・ 各公園や地域の観光資源等を周遊するモデルコースの設定やスタンプラリーの実施
- ・ 鉄道会社と連携したウォーキングイベント等の実施

4 各会場の展開内容

4-1 ぎふワールド・ローズガーデン

【テーマ：バラ・花】

世界に誇るバラ園を中心に、園内を回遊して楽しめるよう花・みどりの演出を加えた華やかな会場を設えます。

また、香り高い朝のバラ園を堪能するイベントなど、花の美しさによる感動を生み出し、花・みどりのある暮らしの豊かさや楽しさが感じられる取組みを展開します。

併せて、県内のバラ産地や、「東美濃」の五平餅や栗きんとんなどの食、山城や地歌舞伎などの歴史・文化等を知るきっかけとなる取組みを展開します。

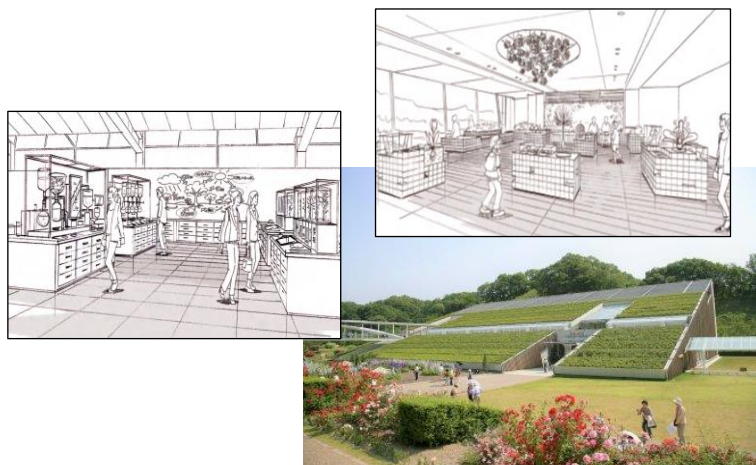
①特設ガーデン（フラワーリビングガーデン）

- ・美しい花に囲まれた空間にベンチ等を配した憩いの場を創出し、グリーンライフの豊かさを体感



③花と暮らしのミュージアム

- ・花の「香り・色・食・文化」を通して、自然と共生した暮らしの豊かさをリアル・バーチャルに体験・体感できるよう「花のミュージアム」を全面的にリニューアル



②世界最大級のバラ園

- ・世界各地の最新のバラからオールドローズまで約6,000品種2万株のバラが咲き誇る世界有数のバラ園

- 見渡す限りのバラが出迎えてくれる「ウェルカムガーデン」



- 323mのバラのトンネル「バラ回廊」



④モロッコガーデン

- ・モロッコ王国との共同プロジェクトにより完成した本場の資材と伝統技術を用いた本物のモロッコ庭園



⑤ 出展花壇・庭園 & ハンギングバスケット

- ・一般の方から企業団体・自治体まで幅広く参加出展する花壇・庭園・ハンギングバスケットの展示

●企業団体等庭園



●ハンギングバスケット



⑥ みんなでつくる大花壇

- ・県民協働により制作する色鮮やかな大花壇



●自治体花壇



●県内市町村コンテナガーデン



●学校花壇



⑦ 花・みどりのある暮らしの豊かさを 体感するプログラム

- ・バラの専門家と語りながらバラ園を巡るガーデンツアー
- ・香り高い朝のバラ園を堪能する「モーニングローズ」
- ・プロカメラマン等による“映える”花の撮り方講座
- ・園芸番組等で人気の専門講師による園芸講座
- ・花と光を楽しむハーバリウム制作等のワークショップ
- ・即興で生け花の戦いを繰り広げる「花いけバトル」
- ・バラの香りに包まれて音楽を楽しむ「ガーデンコンサート」
- ・願いを叶える「花だんご」投げ など

●ガーデンツアー



●花いけバトル



⑧ 花・みどりの新たな楽しみ方を 体験できるプログラム

- ・色鮮やかな花のデジタルアート
- ・エディブルローズなど花を活かした食体験 など

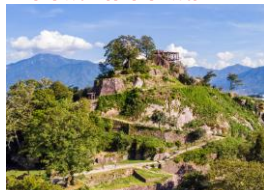
●エディブルローズ



⑨ 飛騨・美濃じまんDay

- バラのまちDay・・・県内バラ産地等によるバラを使った特産品や観光のPR
- 東美濃歴史街道Day・・・東美濃の自治体による食(栗きんとん、五平餅等)や地場産業(陶磁器)、歴史・文化(山城、地歌舞伎等)のPR

●山城(苗木城)



4-2 ぎふ清流里山公園

【テーマ：里のみどり】

園内に段々畑を設えるなど、人と自然が共生する「里山」の暮らしが感じられる会場とします。

農作物の収穫体験や生き物の観察等を通じて、里山の暮らしや文化に親しみ、保全や利活用について考える取組みを展開します。

併せて、県内の果物、お茶、和菓子など「食」やそれを生み出す「農」について知るきっかけとなる取組みを展開します。

①特設ガーデン（花の段々畑）

- ・野花の花摘みができる段々畑を整備し、人と自然が共生する里山の暮らしが感じられる空間を創出



②里山の暮らしが感じられる園内スポット

●茶畑・茶工房



●棚田



③里山の暮らしや文化に親しみ、保全や利活用について考えるプログラム

- ・農業体験（野菜等の種まき・収穫、田植え&どろんこ遊び 等）
- ・里山体験ワークショップ（稲わら細工、繭人形づくり、養蜂教室 等）
- ・園内で収穫した野菜を使用した料理教室
- ・園内の虫、鳥、花等の観察
- ・星空観察会
- ・里山整備講座（竹林や広葉樹林の整備体験等） など

●収穫体験



●養蜂教室



④自然や公園の新たな活用を提案するプログラム

- ・土づくりワークショップ（土壌微生物を活用した無農薬野菜作り）
- ・公園を活用した農福連携（農作物の収穫・加工・販売等） など

⑤地域の食文化を体験するプログラム

ぎふ郷土食フェア・・・岐阜県の郷土食を味わう食の祭典

ぎふ和菓子フェア・・・岐阜県の農作物を使ったおススメの和菓子の販売

●郷土食（朴葉寿司）



⑥飛騨・美濃じまんDay

果物のまちDay・・・果物栽培が盛んな自治体による特産品の紹介や観光PR

お茶のまちDay・・・お茶栽培が盛んな自治体による特産品の紹介や観光PR

都市農村交流Day・・・「ぎふグリーンツーリズム」の紹介

4-3 養老公園

【テーマ：歴史・文化、アート】

巨大な体験型アート作品「養老天命反転地」がある芝生エリアと「養老孝子物語」伝説の舞台である養老の滝などの歴史・文化が感じられる孝子坂エリアのそれぞれの風景を活かし、アートと共演する会場にします。

歴史を巡るガイドツアーや野外アートイベントなど自然を感じながら「歴史・文化、アート」に触れる取組みを展開します。

併せて、滝や地酒、薬草、古戦場など「養老孝子伝説」や「西美濃」と関わりのある地域資源を知るきっかけとなると取組みを展開します。

①特設ガーデン（アートガーデン）

- ・濃尾平野や養老山地の雄大な景色が一望できる芝生広場に風車アート作品を展示



- ・地元の小学生が中心となり、特産のひょうたんを種から育て、孝子坂を演出する企画を立案し、飾りつけ



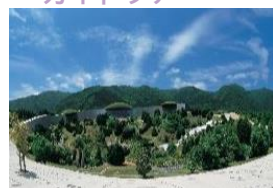
●名瀑「養老の滝」



②自然の中で歴史・文化、アートと触れ合うプログラム

- ・養老公園の歴史ガイドツアー
- ・養老アートナイト（シャボン玉や光を使ったアートパフォーマンスショー）
- ・養老芸術祭（造形作品の展示や養老天命反転地ガイドツアー等）
- ・ひょうたんアート、風車アート制作 など

●養老天命反転地 ガイドツアー



③SDGsについて知るきっかけとなるプログラム

- ・SDGs マルシェ(企業等と連携したSDGsについて楽しく学ぶイベント)

●飛騨牛



④地域の食文化を体験するプログラム

飛騨牛フェア・・・岐阜の大自然の中で育てられた飛騨牛を味わう食の祭典
ぎふ地酒フェア・・・酒が湧き出る伝説の滝がある養老公園に県内の地酒を集めて販売

●古戦場おもてなし 武将隊



⑤飛騨・美濃じまんDay

養老鉄道沿線Day・・・養老鉄道沿線自治体による観光PR
滝のまちDay・・・滝自慢の自治体による観光PR
薬草文化Day・・・薬草の産地等による薬草文化の発信
ぎふアニメ聖地Day・・・県内アニメ聖地の自治体による観光PR
関ヶ原Day・・・関係団体による関ヶ原古戦場のPR

4-4 世界淡水魚園

【テーマ：水・川】

園内水路を色とりどりの草花で彩り、水と緑に囲まれた会場とします。

また、水辺の生き物との触れ合いやサイクリング等を通して、「水辺の楽しさ」を感じながら、保全や利活用について考える取組みを展開します。

併せて、鵜飼や水うちわ、川下りなど「長良川・木曾川中流域」で育まれた歴史・文化、産業を知るきっかけとなる取組みを展開します。

①特設ガーデン（水上ガーデン）

- 中央水路に、鵜飼や水舟等をモチーフにした造形物を配し、「清流の国ぎふ」の水文化を発信



③水辺の生き物に親しみ、守り育てるプログラム

- 水辺の生き物とのふれあいイベント（魚のつかみ取り、放流体験、釣り堀体験）
- 川の生態系を学ぶセミナー、希少種の保護等の体験活動
- 廃竹を利用した竹炭による水質浄化 など

④水辺を活用して楽しむプログラム

- 河原で楽しむ「岐阜のBBQ文化」発信イベント
- 「岐阜の名水」で淹れたコーヒーを楽しむオープンカフェ
- 爽やかな水辺の風を感じるノルディックウォーキング、サイクリング等の健康イベント など

⑤地域の食文化を体験するプログラム

鮎料理フェア・・・世界農業遺産「清流長良川の鮎」の食文化体験

⑥飛騨・美濃じまんDay

- 長良川流域Day・・・長良川流域の自治体による歴史・文化（鵜飼等）、伝統産業（水うちわ、和傘・提灯等）、観光のPR
- 木曾川中流域Day・・・木曾川中流域の自治体による歴史・文化（中山道等）や観光（日本ライン等）のPR

②世界最大級の淡水魚水族館「アクア・トトぎふ」

- 木曾三川・長良川の源流から河口までと世界の淡水魚をテーマに、自然環境を再現し、身近な生物から世界の巨大淡水魚までを展示



●魚のつかみ取り



●サイクリング



●鮎料理



●鵜飼



4-5 岐阜県百年公園

【テーマ：木・林】

100haの敷地面積を持つ広大で緑豊かな空間を満喫いただけるよう、林の中に誘う仕掛けを施した会場とします。

また、木工ワークショップや自然観察会を通じ、「林の木や生き物」との触れ合いを楽しみ、保全や利活用について考える取組みを展開します。

併せて、「中濃」の刃物や美濃和紙、染織、鶏ちゃんなどの地域資源や、東濃の陶磁器、飛騨の木工など自然を活かした岐阜県の「ものづくり」を知るきっかけとなる取組みを展開します。

①特設ガーデン（林のガーデン）

- ・林内から伐採した枯木や竹、落ち葉等を用いて、憩いの場や遊びの場となる小さな空間を複数整備



③林の木や生き物に親しみ、守り育てるプログラム

- ・森林文化アカデミーと連携した森林教育プログラム
- ・木育（木のおもちゃ体験、木工ワークショップ等）
- ・園内を巡り、その草花を観察する「自然観察会」
- ・自然の大切さや素晴らしさを伝える「森の案内人」を育てる講座
- ・荒れた里山を利用できる場所に変える里山整備体験
- ・希少動植物（フクロウ、ギフチョウ）の保全活動
- ・園内の間伐材を用いた「百年のしおり」づくり など

④自然を活かした岐阜県のものづくりを知るきっかけとなるプログラム

- ・クラフトミュージアム（園内の県立博物館と連携し、花・みどりをモチーフにした美術工芸品の展示、伝統工芸美演、工芸講座）など

⑤地域の食文化を体験するプログラム

庭×鶏フェア・・・奥美濃古地鶏や鶏ちゃんなどを味わう食の祭典

⑥飛騨・美濃じまんDay

匠のまちDay・・・刃物、美濃和紙、染織、陶磁器、木工など伝統工芸が受け継がれている自治体による特産品や観光のPR

踊りのまちDay・・・郡上踊・寒水の掛踊、谷汲踊など伝統舞踊が受け継がれている自治体による文化や観光のPR

長良川鉄道沿線Day・・・小瀬鶏飼や花みこしなど長良川鉄道沿線自治体による観光のPR

②四季折々の自然が楽しめる園内スポット

●3,000㎡の菖蒲園



●様々な動植物を楽しめるウォーキングコース



●紙すき体験



●古式日本刀鍛錬



●郡上踊



4-6 各務原公園

【テーマ:未来・夢】

子ども達による花壇制作を行うなど、子ども達が自然を身近に感じられる会場とします。
また、子育て世代の交流イベントを開催するなど、花・みどりの中で、親子でゆっくり楽しく過ごせる取組みを展開します。

併せて、自動車や飛行機等の「乗り物」に関連したイベントを開催するなど、地元の産業を知るきっかけとなる取組みを展開します。

①特設ガーデン（芝生アート）

- ・子ども達が選んだデザイン画をもとに、夢と希望が詰まった芝生アートを制作



②たねダンゴ花壇

- ・子ども達が「たねダンゴ」を使って彩り豊かな花壇を制作



③交通ルールや技能を楽しく学べる「交通広場」



●トレッキング



●ドローン体験



●水ロケット



④親子で自然を身近に感じられるプログラム

- ・大空庭園鑑賞（熱気球やドローン等を使った上空からの芝生アート鑑賞）
- ・隣接する「各務原自然遺産の森」と連携したトレッキング等のイベント など

⑤親子でゆっくり楽しく過ごせるプログラム

- ・春のちびっこフェア（自然観察会、スポーツ、ゲーム等）
- ・公園を活用した子育て支援（親子や子育て中の親同士の交流イベント、子育て相談・講座等） など

⑥自動車や飛行機等の「乗り物」に関連したプログラム

- ・働く車等の展示や乗車体験
- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館と連携した水ロケット、ドローン等のイベント など

4-7 飛騨会場

【テーマ：森】

都市部では体験できない「リアルな自然」を体験できる取組みを展開します。

①雄大な自然

- ・飛騨地域の雄大な自然を体験できる観光資源に、ぎふフェアのPRを兼ねてオブジェを設置
- ・オブジェ設置の観光資源や県営6都市公園を周遊するスタンプラリーを開催し、周遊を促進



②雄大な自然を体感するプログラム

- <高山市>・温泉ガストロノミーウォーキング
- <飛騨市>・薬草体験めぐり
 - ・自然保全活動体験
 - ・クアオルト健康ウォーキング
- <下呂市>・クアオルト健康ウォーキング

●薬草体験



③移動型フェア会場（キャラバン隊派遣）

- ・フェア期間中に開催されるイベント等の会場にキャラバン隊を派遣し、花・みどりのワークショップを開催
- <4月>・飛騨小坂はなもまつり（下呂市）
 - ・美女高原みずばしょう祭り（高山市）
 - ・飛騨あさひ桜めぐり（高山市）
- <5月>・星空観賞便（新穂高ロープウェイ）
 - ・安望藤園「ふじまつり」（飛騨市）
 - ・車田田植え（高山市／飛騨の里）
 - ・乗鞍山麓五色ヶ原の森開山式（高山市）
 - ・白川郷田植えまつり（白川村）
- <6月>・松倉山・城山ハイキング（高山市）
 - ・宇津江四十八滝山野草花園花の森まつり（高山市）
 - ・小坂の滝めぐり御嶽山安全祈禱祭・山開き（下呂市）

●クアオルト健康ウォーキング



●自然保全活動体験



清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

岐阜県は、古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。豊かな森を源とする「清流」は、県内をあまねく流れ、里や街を潤しています。そして、「心の清流」として、私たちの心の奥底にも脈々と流れ、安らぎと豊かさをもたらしています。

私たちの「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨き、千有余年の歴史を誇る鶴飼などの伝統文化を育むとともに、新たな未来を創造する源になっています。

私たち岐阜県民は、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとして、活かし、伝えてまいります。

そして、人と人、自然と人との絆を深め、世代を超えた循環の中で、岐阜県の底力になり、100年、200年先の未来を築いていくため、ここに「清流の国ぎふ憲章」を定めます。

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知

清流がもたらした
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、
新たな創造と発信に努めます

伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

令和6年度 事業計画

1 会議の開催等（総務関係）

(1) 総会の開催

「オール岐阜」でのフェアの開催準備や機運の醸成を図るため、実行委員会第2回総会を開催する。

【第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会第2回総会】

- 開催日 令和6年4月23日（火）
- 場所 岐阜県庁20階 2001-2004 会議室
- 審議・報告事項
 - ・実施計画
 - ・令和5年度事業報告及び収支決算（案）
 - ・令和6年度事業計画及び予算
 - ・総会から常任委員会への委任事項（案）

(2) 常任委員会の開催

総会からの委任事項を審議・決定する常任委員会を開催する。

(3) 企画委員会の開催

実施事業の企画・検討等を行う企画委員会を開催する。

(4) 協賛金等の募集

フェアを円滑に開催、運営するための協賛制度を創設し、フェアの主旨に賛同いただける企業、団体等からの協賛金及び協賛物品を広く募集する。

2 フェア開催に向けた準備（事業関係）

(1) 広報宣伝の実施

(ア) 広報啓発物品の作成

- ・広報啓発物品を作成し、様々なイベントにおいて、周知、広報する

ことで、フェア開催の認知度向上や来場促進を図る。

(イ) 広報キャラバンの展開

- ・県内外に幅広くフェア開催を周知するため、キャラバン活動を通じてフェア機運の醸成を図る。

(2) 行催事等の開催準備

(ア) 開・閉会式の開催準備

- ・オープニングアトラクションなどの具体的な式典内容について検討を行うなど、開催に向けた準備を行う。

(イ) 会場別催事の開催準備

- ・開催の方針や各会場のテーマに沿った催事の展開準備を行う。

(ウ) 出展プログラムの準備

- ・庭園やハンギングバスケットなどの出展参加者の募集を行うほか、コンテストの実施に向けた各種調整を行う。

(エ) 植物の調達

- ・県内の生産者団体、流通業者、農業関係団体からなる「植物調達協議会」を通じた植物調達を行う。

(オ) 会場運営の準備

- ・公園ごとに運営・管理に関するマニュアルを策定し、誰もが快適で安全に参加できるような会場運営の準備を行う。

(3) 県民参加型の協働推進事業の展開

(ア) 花・みどりの活動の機運醸成

- ・たねダンゴを使った花壇づくりなど、花・みどりの活動の楽しさを体験できる機会を設け、継続的な活動の機運を醸成する。

(イ) グリーンコミュニティの形成支援

- ・花・みどりの活動に関わる人と情報のプラットフォーム（ぎふグリーン・ライフパートナーズ）を立ち上げ、意欲的な活動を支援する。

令和6年度 予算

自：令和6年4月 1日
至：令和7年3月31日

<収支予算>

○ 収入の部

(単位：千円)

区分	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比較	摘要
負担金	158,738	35,115	123,623	岐阜県
その他収入	0	0	0	
合 計	158,738	35,115	123,623	

○ 支出の部

(単位：千円、△は減を示す)

区分	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比較	摘要
総務費	1,035	2,988	△1,953	総会・常任・企画委員会 開催、事務局運営等
事業費	157,703	32,127	125,576	広報宣伝、行催事等開催 準備、協働推進事業展開
合 計	158,738	35,115	123,623	

<債務負担行為>

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和7年度	計
合 計	158,738	705,705	864,443

令和5年度 事業報告（案）

1 開催に向けた準備

(1) 総会の開催

- ・フェアの開催準備や運営等を「オール岐阜」で行うため、県内の市町村、花き・園芸、造園、観光等の様々な関係団体が参加のもと、実行委員会設立総会・第1回総会を開催した。

【設立総会・第1回総会】

- 開催日 令和5年8月2日（水）
- 場所 岐阜県庁1階 ミナモホール
- 審議事項
 - ・第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会の設立
 - ・第42回全国都市緑化ぎふフェア基本計画（案）
 - ・令和5年度事業計画（案）
 - ・令和5年度収支予算（案）
 - ・総会から常任委員会への委任事項（案）
- 記念講演
 - ・演題 花とみどりが魅せる岐阜県の未来
 - ・講師 涌井史郎 岐阜県都市公園活性化懇談会座長
（岐阜県立森林文化アカデミー学長）

(2) 常任委員会の開催

- ・総会からの委任事項を審議・決定するため、第1回常任委員会を開催した。

【第1回常任委員会】

- 開催日 令和6年3月28日（木）
- 場所 岐阜県庁20階 2001-2002 会議室
- 審議事項
 - ・第42回全国都市緑化ぎふフェア実施計画（案）
 - ・令和5年度事業報告及び収支決算見込み（案）
 - ・令和6年度事業計画及び予算（案）

(3) 企画委員会の開催

- ・実施事業の企画・検討等を行うため、企画委員会を開催した。

【第1回企画委員会】

- 開催日 令和5年10月30日（月）
- 場所 岐阜県庁6階 特別会議室
- 協議事項 第42回全国都市緑化ぎふフェア基本計画の具体化に向けて

【第2回企画委員会】

- 開催日 令和6年2月6日（火）
- 場所 岐阜県庁6階 特別会議室
- 協議事項 第42回全国都市緑化ぎふフェアにおける取組みについて

（4）第42回全国都市緑化ぎふフェア実施計画（案）の策定

- ・企画委員会での議論をもとに、会場整備、出展、植物調達、行催事、会場運営、協働推進、広報宣伝・観客誘致等を定めた実施計画（案）を策定した。

2 開催機運の醸成

（1）シンボルマークの決定

- ・多くの県民への認知度を高め、開催機運の醸成を図るため、シンボルマークを公募し、デザイン選考委員会の選考を経て、最優秀賞等を決定した。

- 【募集期間】 令和5年9月5日～12月8日
- 【応募点数】 208件
- 【最優秀賞】 なかやま ゆうへい 中山 雄平さん（岐阜市）
- 【決定・公表】 令和6年2月7日



（2）マスコットキャラクターの決定

- ・フェアをより身近に親しんでいただくため、シンボルマークの決定にあわせて、「清流の国ぎふ」ミナモをフェア用のスタイルに衣替えし、マスコットキャラクターとして決定した。

【デザインコンセプト】

花・みどりのある暮らしの普及啓発を図る
祭典に相応しくレンゲ（県の花）の花束を
持たせるとともに、緑色のケープを着用



令和5年度 収支決算（案）

自：令和5年8月 2日

至：令和6年3月31日

収入決算額	28,092 千円
支出決算額	21,548 千円
差 額	6,544 千円

差額の6,544千円については、第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会負担金交付要綱の規定により、岐阜県に返還する。

○ 収入の部

（単位：千円）

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(A-B)	摘要
負担金	35,115	28,092	7,023	岐阜県負担金
合 計	35,115	28,092	7,023	

○ 支出の部

（単位：千円）

区分	予算額(A)	決算額(B)	比較(A-B)	摘要
総務費	2,988	435	2,553	常任・企画委員会開催、事務局運営等
事業費	32,127	21,113	11,014	実施計画（案）策定、公式ウェブサイト制作、広報物作成等
合 計	35,115	21,548	13,567	

総会から常任委員会への委任事項（案）

第42回全国都市緑化ぎふフェア実行委員会会則第9条第1項第5号の規定に基づく常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 令和7年度の事業計画及び予算に関すること